



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社宇徳

コード番号 9358 URL <http://www.utoc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 喜多澤 昇

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務室長 (氏名) 鍋田 康久 TEL 03-5769-3797

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	25,257	19.1	2,432	97.9	2,548	92.9	1,683	29.4
26年3月期第2四半期	21,213	△7.4	1,228	△11.7	1,321	△11.9	1,300	40.9

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 1,700百万円 (△1.3%) 26年3月期第2四半期 1,722百万円 (95.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	38.92	—
26年3月期第2四半期	30.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	33,882	22,878	67.3	527.64
26年3月期	32,214	21,508	66.6	495.91

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 22,819百万円 26年3月期 21,446百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	14.7	4,250	48.3	4,450	46.2	2,750	15.4	63.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	43,448,099株	26年3月期	43,448,099株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	200,398株	26年3月期	200,398株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	43,247,701株	26年3月期2Q	43,247,727株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、（添付資料）P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では住宅着工や雇用改善等を背景に緩やかな経済の持ち直しが続いているほか、欧州でもドイツや英国の牽引で明るさが見えつつありますが、一部で一服感も見られ景気回復にまでには至っておりません。また、アジア諸国では中国、インドをはじめとする新興国において緩やかながら成長が継続し、世界経済全体で緩やかではありますが成長が続きました。わが国経済は、政府の経済政策等を背景に大企業を中心に業績の改善が見られる一方で、円安や原材料価格の高騰に加え、増税による駆け込み需要の反動や夏季の天候不順による個人消費の低迷等から全体的には緩やかな持ち直しに留めております。

当社の事業基盤となる京浜港の貿易額は、横浜港では輸出は前年度並みですが輸入は増加傾向にあり、東京港では輸出入共に増加傾向が継続し、総じて堅調に推移しました。

このような環境の下、当社グループの総力をあげて営業活動を展開した結果、セグメント別の業績は次の通りとなりました。

上段：営業収入 下段：経常損益

(単位：百万円)

セグメントの状況	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	増減額	増減率
港湾事業	10,500	10,744	244	2.3%
	1,009	1,139	129	12.8%
プラント・物流事業	10,465	14,266	3,801	36.3%
	321	1,378	1,057	329.1%
その他	247	246	△1	△0.6%
	△9	30	40	-%

## ①港湾事業

港湾事業は、車両・建機関連での取扱量が一部において回復が遅れていますが、全体では緩やかながら回復を続けております。また、コンテナ関連については取扱量が引き続き好調で増加基調にて推移した結果、事業全体では増収増益となりました。

## ②プラント・物流事業

当社の輸出入貨物の取扱量は、輸入が引き続き堅調で輸出も横浜港等において回復基調で推移しました。国内の電力関連工事は前年度から延期となっていた工事の実施や新規に受注した発電設備の更新工事等があり、橋梁工事・その他建設工事においても新規受注や施工中の工事での追加受注等があり施工工事量が増加しました。当社が得意とする重量物輸送の分野においても大型機器等の輸送が続いており、さらに海外におけるプラント建設工事においても主要拠点のシンガポールでの追加工事や新規工事の前倒し着工があり、事業全体では増収増益となりました。

## ③その他

自社ビル等不動産の賃貸等があります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の営業収入は252億5千7百万円（前年同四半期比19.1%増）、営業利益は24億3千2百万円（同97.9%増）、経常利益は25億4千8百万円（同92.9%増）となりました。

また、四半期純利益については、前第2四半期連結累計期間において東京支社ビルの土地及び建物を売却したこと等による固定資産売却益6億5千2百万円を計上したことから、前年同四半期比29.4%増加に留まり16億8千3百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は338億8千2百万円となり、前連結会計年度末比16億6千7百万円の増加となりました。主な要因は、受取手形及び営業未収入金が17億7千4百万円増加した一方、現金及び預金が2億6千3百万円減少したことによるものです。

負債は110億3百万円となり、前連結会計年度末比2億9千7百万円の増加となりました。主な要因は、支払手形及び営業未払金が7億2千5百万円増加した一方、その他の流動負債のうち未払金が1億8千2百万円減少したことによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末から13億7千万円増加し、228億7千8百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が13億5千3百万円増加したことによるものです。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の四半期末残高は、前連結会計年度末から4億1千8百万円減少し、30億8千1百万円となりました。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は10億8千5百万円（前年同期は29億6千9百万円の収入）となりました。主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益25億6千8百万円、減価償却費6億3千5百万円及び営業債務の増加額6億8千8百万円であり、主なマイナス要因は、営業債権の増加額17億2千万円及び法人税等の支払額9億1千6百万円であります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は10億9百万円（前年同期は19億2千2百万円の支出）となりました。主なプラス要因は、貸付金の回収による収入85億8千7百万円であり、主なマイナス要因は、有形固定資産の取得による支出5億8千2百万円及び貸付けによる支出88億4千7百万円であります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動に使用した資金は4億9千9百万円（前年同期は6億4千7百万円の支出）となりました。主な要因は、配当金の支払額3億2百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、プラント・物流事業における橋梁工事等の追加・新規の工事や重量物輸送等の受注数の大幅増が見込まれることから平成26年7月31日に公表いたしました業績予想を上回る見通しであり、通期の連結業績予想を下記の通り変更いたしました。

尚、下記業績予想は本資料公表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
今回修正予想	50,000	4,250	4,450	2,750
前回発表予想（参考）	48,500	3,650	3,850	2,400

<参考> 1株当たり予想当期純利益（通期） 63円59銭

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

##### （退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間ごとに設定された複数の割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が112,177千円減少し、利益剰余金が71,883千円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,629,251	3,365,292
受取手形及び営業未収入金	8,555,952	10,330,623
貯蔵品	51,414	59,598
繰延税金資産	409,664	366,328
関係会社短期貸付金	3,201,842	3,370,713
その他	797,331	774,906
貸倒引当金	△10,316	△15,225
流動資産合計	16,635,142	18,252,237
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,340,986	4,260,572
機械装置及び運搬具(純額)	1,488,927	1,643,013
工具、器具及び備品(純額)	307,368	308,368
土地	2,516,168	2,513,328
リース資産(純額)	370,127	457,517
建設仮勘定	279,028	54,257
有形固定資産合計	9,302,606	9,237,057
無形固定資産		
借地権	1,497,536	1,497,536
その他	276,486	288,065
無形固定資産合計	1,774,022	1,785,601
投資その他の資産		
投資有価証券	2,137,568	2,275,570
繰延税金資産	752,311	684,243
その他	1,624,443	1,668,228
貸倒引当金	△11,552	△20,690
投資その他の資産合計	4,502,770	4,607,351
固定資産合計	15,579,399	15,630,010
資産合計	32,214,541	33,882,247

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	3,405,342	4,130,928
短期借入金	348,150	300,000
1年内返済予定の長期借入金	45,200	373,750
リース債務	144,503	184,929
未払法人税等	932,567	884,216
未払費用	433,093	338,427
賞与引当金	665,960	622,397
役員賞与引当金	67,900	44,400
その他	812,269	676,806
流動負債合計	6,854,987	7,555,855
固定負債		
長期借入金	378,750	—
リース債務	283,132	361,899
繰延税金負債	3,121	3,060
役員退職慰労引当金	175,735	154,022
退職給付に係る負債	2,684,352	2,609,189
資産除去債務	27,907	28,214
その他	298,345	291,136
固定負債合計	3,851,344	3,447,523
負債合計	10,706,332	11,003,378
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,155,300	2,155,300
資本剰余金	330,659	330,659
利益剰余金	17,718,649	19,072,062
自己株式	△30,313	△30,313
株主資本合計	20,174,295	21,527,708
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	653,922	764,720
為替換算調整勘定	652,891	557,451
退職給付に係る調整累計額	△34,302	△30,500
その他の包括利益累計額合計	1,272,512	1,291,672
少数株主持分	61,401	59,488
純資産合計	21,508,208	22,878,868
負債純資産合計	32,214,541	33,882,247

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業収入	21,213,001	25,257,832
営業費用	16,529,862	19,174,681
営業総利益	4,683,139	6,083,151
販売費及び一般管理費	3,454,268	3,651,064
営業利益	1,228,870	2,432,086
営業外収益		
受取利息	14,987	16,649
受取配当金	28,356	35,224
受取賃貸料	22,927	30,172
その他	41,895	51,921
営業外収益合計	108,166	133,968
営業外費用		
支払利息	5,912	4,385
持分法による投資損失	7,576	6,803
為替差損	—	5,737
その他	2,547	1,011
営業外費用合計	16,035	17,938
経常利益	1,321,002	2,548,116
特別利益		
固定資産売却益	652,125	10,713
受取賠償金	—	11,105
ゴルフ会員権売却益	—	5,451
特別利益合計	652,125	27,269
特別損失		
固定資産除売却損	8,483	6,708
特別損失合計	8,483	6,708
税金等調整前四半期純利益	1,964,644	2,568,677
法人税、住民税及び事業税	586,146	869,929
法人税等調整額	77,515	15,453
法人税等合計	663,662	885,382
少数株主損益調整前四半期純利益	1,300,981	1,683,294
四半期純利益	1,300,981	1,683,294

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,300,981	1,683,294
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75,777	110,797
為替換算調整勘定	290,935	△73,969
持分法適用会社に対する持分相当額	54,582	△23,383
退職給付に係る調整額	—	3,801
その他の包括利益合計	421,295	17,247
四半期包括利益	1,722,277	1,700,541
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,715,773	1,702,454
少数株主に係る四半期包括利益	6,503	△1,912

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,964,644	2,568,677
減価償却費	673,391	635,622
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△69,092	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	43,655
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△26,829	△21,712
賞与引当金の増減額(△は減少)	△134,364	△47,863
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△34,800	△23,500
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10,530	13,976
受取利息及び受取配当金	△43,343	△51,874
支払利息	5,912	4,385
持分法による投資損益(△は益)	7,576	6,803
固定資産除売却損益(△は益)	△643,641	△4,004
受取賠償金	—	△11,105
ゴルフ会員権売却損益(△は益)	—	△5,451
営業債権の増減額(△は増加)	2,130,150	△1,720,797
営業債務の増減額(△は減少)	△787,058	688,263
未払又は未収消費税等の増減額	64,959	120,340
その他の資産の増減額(△は増加)	125,607	△42,837
その他の負債の増減額(△は減少)	△181,978	△192,436
その他	△1,842	△12,445
小計	3,038,758	1,947,695
利息及び配当金の受取額	43,391	48,006
利息の支払額	△6,064	△4,526
法人税等の支払額	△106,919	△916,728
賠償金の受取額	—	11,105
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,969,165	1,085,553
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△190,730	△582,532
有形固定資産の売却による収入	888,951	50,678
定期預金の預入による支出	△121,659	△283,885
定期預金の払戻による収入	—	129,332
貸付けによる支出	△11,345,340	△8,847,762
貸付金の回収による収入	8,962,329	8,587,284
その他の支出	△137,420	△99,700
その他の収入	21,810	37,179
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,922,057	△1,009,405
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△120,000	△46,650
長期借入金の返済による支出	△148,148	△50,200
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△77,988	△99,475
配当金の支払額	△301,675	△302,712
財務活動によるキャッシュ・フロー	△647,811	△499,038
現金及び現金同等物に係る換算差額	106,943	△32,673
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	506,239	△455,563
現金及び現金同等物の期首残高	2,807,131	3,499,919
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	55,836	—
連結子会社と非連結子会社の合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	37,051
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,369,208	3,081,407

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	港湾事業	プラント・ 物流事業	計				
営業収入							
外部顧客への営業収入	10,500,296	10,465,082	20,965,379	247,621	21,213,001	—	21,213,001
セグメント間の内部営業収入又は振替高	300,694	266,356	567,051	43,928	610,980	(610,980)	—
計	10,800,991	10,731,439	21,532,431	291,550	21,823,981	(610,980)	21,213,001
セグメント利益又は損失(△)	1,009,540	321,195	1,330,735	△9,733	1,321,002	—	1,321,002

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	港湾事業	プラント・ 物流事業	計				
営業収入							
外部顧客への営業収入	10,744,607	14,266,990	25,011,598	246,234	25,257,832	—	25,257,832
セグメント間の内部営業収入又は振替高	320,403	314,769	635,172	39,285	674,457	(674,457)	—
計	11,065,011	14,581,759	25,646,770	285,519	25,932,290	(674,457)	25,257,832
セグメント利益	1,139,103	1,378,254	2,517,357	30,758	2,548,116	—	2,548,116

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。